

2019年度(平成31年度)学校評価自己評価表

鷹取中学校区	校番 4	福山市立鷹取学校
最終更新日	2019年(平成31年)4月1日	

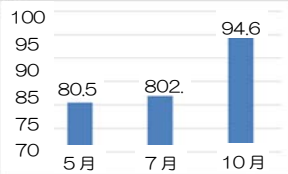
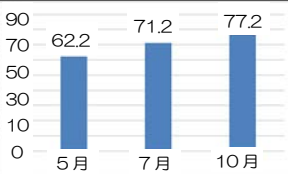
I 福山市

ミッション 福山に愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる子どもを育てる。
 ビジョン 「福山100NEN教育」の基本理念のもと、各中学校区・学校が「21世紀型「スキル&倫理観」」の育成に向けた特色ある教育課程を編成し、日々の授業を中心として評価・改善を進めながら、子どもたちの確かな学びを実現している。

II 中学校区

前年度学校関係者評価の主な内容	児童生徒・教師の現状			育成する力 (21世紀型「スキル&倫理観」)	知識・技能	課題発見・解決力	主体性
- 発表方法に工夫があり、全体像が大変よく分かった。 - 校区での具体的な取組みのプレゼンがとても分かり易かった。もっと多くの保護者に聞いてほしい内容だった。		鷹取中	霞小	光小	課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けている。	問いをみつけ、見通しをもちながら調べたことをもとに自分の考えを持ち、仲間と話し合い、よりよい考えを見つけ、次の学習につなげることができる。	すべての学習や活動に主体的・協働的に取り組むとともに、仲間と互いの良さを生かしながら、持続可能な社会を実現するための行動の仕方を考え、自ら社会に参画しようとしている。
	全国B6割以上	51.2 (+1.2)	71.5 (+21.5)	57.5 (+7.5)			
	CRT3平均点	64.8 (0.9)	77.9 (6.1)	73.2 (+1.4)			
	課題発見学習実施率	88.8 (3.8)	100 (0)	100 (0)	中学校区として統一した取組等 ○課題発見解決学習 ○小中合同挨拶運動 ○部活動後、オープンスクール ○生徒会児童会交流 ○トークショー、ノーメディアデー ○鷹取中学校区スタンダード	・随時 ・毎月2回、登校時に小中学校校門前等で校区教員があいさつ ・夏季休業中に小学生が中学校の部活動を1日体験 ・生徒会役員と児童会役員があいさつ運動等について意見交流、体育大会参加 ・毎月1回、家庭でテレビ等を見ない日、テーマを決めて親子で会話する日を設定 ・家で5つのめあてを決めて中学校区の保護者にパンフレット配付	
	()内は本校設定の目標値との差						

III 自 校

ミッション		育成する力 (21世紀型「スキル&倫理観」)	知識・技能	課題発見・解決力	主体性	
霞小・光小と連携して「21世紀型「スキル&倫理観」」の育成を図ることを通して、地域に誇れる学校を創造する。		めざす子ども像	課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けている。	問いを見だし、その解決にむけて仮説を立てたり、結果を予測しながら実行したり、調査して得た情報を元に自分の考えを形成・表現したりするとともに、仲間と互いの考えを伝え合うことで多様な考えを理解したり、集団としての考えを形成したりすることなどをとおして課題解決したことを、次の課題発見・解決につなげていくことができる。	すべての学習や活動に主体的・協働的に取り組むとともに、仲間と互いの良さを生かしながら、持続可能な社会を実現するための行動の仕方を考え、自ら社会に参画しようとしている。	
学校教育目標						
夢や目標に向かって仲間とともに主体的に学び、未来を創造できる生徒の育成						
現 状						
＜生徒＞		＜授業＞				
○「基礎・基本」定着状況調査 県差		○2018（H30）授業アンケート				
	H27	H28	H29			
国語	-1.8	-1.0	6.8	 授業では自分と課題を設定しています。 授業を変えようとする教員の意欲は育ちつつある。		
数学	-2.1	0.3	5.8			
理科	-5.6	2.0	8.2			
英語	-5.2	-0.4	9.3			
○全国学力・学習状況調査 全国差						
	H28	H29	H30			
	A	B	A	B	A	B
国語	-2.1	-0.1	-1.0	-3.0	+1.9	-0.2
数学	-6.4	-6.1	+1.0	0	+0.9	-0.9
理科					+1.9	
知識・技能を活用する力が十分に身に付いていない。		 授業では、情報を、思考ツールを使って、比べたり(比較)、仲間分けしたり(分類)、関係を見付けたり(関係付け)して、何か分かるのかを考えています。				

研究	教科等	全教科・総合的な学習の時間	
	主題・内容等	主体的に問い続ける生徒の育成 ～思考スキル・思考ツールを基盤とした課題発見・解決学習の推進～	
めざす授業の姿	・鷹取中学校版「学びの足跡」を用いて、わかったこと、わからないことを自分自身が理解し、次時の授業での自分自身の課題を設定している。 ・前時の振り返りをもとに、生徒が自ら課題やルーブリックを設定している。 ・知識・技能の習得、さらに発展的な問題に挑戦することで学びを確かなものになっている。 ・個人思考を対話をしながら集団思考へ導いている。 ・生徒が授業を計画し、主体的に取り組んでいる。		

Ⅳ 目標・取組及び評価指標等の設定と評価

福山市立鷹取中学校

年目	中期経営目標	重点	分類	短期経営目標	目標達成に向けた取組	評価指標	中間評価(10月1日)				最終評価(2月末)			
							□指標に係る 取組状況	力に 評価	達成 評価	改善方策	□指標に係る 取組状況 ◎短期(中期)経営 目標の達成状況	力に 評価	達成 評価	総合 評価
3	主体的に学ぶ力の 育成 (教育研究部) ※霞小	★	見直し	・全国学力・学習状況調査正 答率6割以上の児童・生徒 (60%以上) ・CRT5教科平均点 (全国平均以上) ・自分から進んで学習に取り 組んでいる児童・生徒 (70%以上)	【校区共通】 ・課題発見・解決学習の合同 研究授業 ・学力調査分析 【本校】 ・全授業者による論理的思考 を基盤とする課題発見・解 決学習に係る授業計画の作 成、実施	・国の学力調 査 ・CRT ・児童・生徒 アンケート								
3	異年齢交流活動を通した豊かな心の 育成 (交流活動推進部) ※鷹取中		見直し	・地域の人や家の人にあいさ つをする児童・生徒 (90%以上) ・他学年の良いところを見 つけている児童・生徒 (80%以上)	【校区共通】 ・小中合同対策運動 ・部活動体験 ・生徒会児童会交流 ・オープンスクール 【本校】 ・生徒会行事 ・体育大会	・県・国の学力 調査(質問紙 調査) ・児童・生徒ア ンケート								
3	地域・保護者との連 携等を通した地域 を愛する心の育成 (ふるさと学習 推進部) ※鷹取中		見直し	・自分の地域が好きな児童・ 生徒 (70%以上) ・地域の行事に参加している 児童・生徒 (70%以上)	【校区共通】 ・ESDを踏まえたふるさと学 習カリキュラムの改善 【本校】 ・創立70周年記念を踏ま えたふるさと学習の工夫・改 善	・県・国の学力 調査 ・児童・生徒ア ンケート								
3	健やかな体の育成 (体力健康部) ※霞小		見直し	・新体力テスト県平均以上の 種目 (80%以上) ・友達と関わり合いながら運 動することが好きな児童・ 生徒 (80%以上)	【校区共通】 ・体力テスト分析 ・トークデー、ノーマディアデー ・校区スタンダード改善 【本校】 ・課題発見・解決型の体育授 業の実施	・新体力テスト ・児童・生徒ア ンケート								
1	学校組織力の向上		新規	・授業づくりや専門性を高め るための時間が確保され ていると感じる教職員 (80%以上)	【校区共通】 ・業務の改善 ・校務補助員の活用の工夫	・福山100N E N教育ア ンケート								

[プロセス評価の評価基準]		[達成評価の評価基準]		[総合評価の評価基準]		
評点	評価基準	評点	評価基準	評点	評価基準	
5	取組の目的に対する共通理解が顕著に認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が十分に図られた。	5	目標を大幅に達成し、十分な成果をあげた。	5	100%以上の達成度	十分に目標を達成できた。
4	取組の目的に対する共通理解が認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が概ね図られた。	4	目標を概ね達成し、望ましい成果をあげた。	4	80%以上100%未満の達成度	概ね目標を達成できた。
3	取組の目的に対する共通理解が一定程度認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決がある程度図られた。	3	目標をある程度達成し、一定の成果をあげた。	3	60%以上80%未満の達成度	ある程度目標を達成できた。
2	取組の目的に対する共通理解が認められ難く、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決があまり図られなかった。	2	目標を下回り、成果よりも課題が多かった。	2	40%以上60%未満の達成度	あまり目標を達成できなかった。
1	取組の目的に対する共通理解が認められず、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決が図られなかった。	1	目標を大きく下回り、成果が認められなかった。	1	40%未満の達成度	目標を達成できなかった。